

第3学年1組 学級活動(1) 指導案

1 内容「(1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」

題材「合唱コンクールで今のクラスに足りないことについて」

2 本時 平成30年9月27日(木) 第1校時 第3学年1組教室

3 本時の指導観

生徒はこれまでに、生徒総会や体育大会などを通して学級内の絆を深めてきた。互いに支え合い、励まし合えるような関係も見え、男女問わず仲の良い学級である。合唱活動にも全体的に頑張ろうという姿勢はあるものの、本気さに欠けていると感じる部分がある。

そこで本時では、思考ツールを活用した学習を行うことで、学級の課題に気づき、合唱活動に本気で取り組んでいこうとする態度を養いたい。

4 主眼

意見交流を行い、学級で合唱コンクールを成功させるために必要なことは何かを見つけ、合唱活動に対する意欲を高める。

5 トーナメント 二つのものを比較させながら最終的に一つのものに絞っていく

6 準備 カード シート 学習プリント

7 展開

段階	学習活動・学習内容	具体的な支援	評価の観点(方法)
つかむ	<p>1 本時の学習内容を確認する (1) 去年の金賞クラスの合唱を観る。</p>	<p>○合唱コンクールの雰囲気を思い出せるように、去年の合唱の動画を観せる。</p>	
	<p>めあて 合唱で金賞を獲るために3年1組に必要なことについて考えよう。</p>		
さぐる	<p>2 合唱を良くするための8つの項目を確認し、自分の中ではどの項目が今の学級に必要なものかを考える。</p> <p>①練習量 ②リーダーシップ ③個人の能力 ④一生懸命さ ⑤団結力 ⑥全員参加 ⑦知識 ⑧勝利への執念</p>	<p>○合唱に対する一般的な話で終わらないように、「今の学級」を見つめさせ、考えられるような話をする。</p>	
深める	<p>3 班で意見交流を行い、今の学級に足りないものについて考える。</p> <p>【思考ツール】 トーナメント→</p>	<p>○比較させることで項目に対する考えを深めさせるように、思考ツールを用いて交流活動を行う。</p> <p>○組み合わせは班によって変え、班ごとにどのような話し合いになり、どのような結果になったかを発表する</p>	<p>・班で意見交流を行い、自分の考えを深めることができたか (机間巡視)【意欲関心】</p>
まとめる	<p>4 授業を終えての感想を書く。</p> <p>●今の学級の課題について改めて考えることができてよかった。</p> <p>●自分は□□が大事だと思っていたけど、トーナメントでは早い段階で負けていて、驚いた</p> <p>●みんなが言うように△△は今の学級に足りないものなので、△△を特に意識して今後の練習に取り組んでいきたい。</p>	<p>○今の学級と金賞クラスの違いについて考えながら感想が書けるよう去年の金賞クラスの合唱を聴きながら、自分の感想を書かせる。</p>	<p>・学級の課題を把握し、これからの合唱活動に意欲を持てたか (学習プリント)【知・理】</p>

学活学習プリント

【 3の1に必要なもの決定戦 】

名前.....

めあて

自分の考えをまとめよう！

項目	内容	私の順位	私の考え
練習量	どれだけの時間を合唱に費やしたか、何回歌うことができたか		
リーダーシップ	指揮者、伴奏者、音取り、パートリーダー、文化委員の動き		
個人の能力	一人ひとりの声量、音程、声質など		
一生懸命さ	合唱練習に集中し、ベストを尽くそうとする		
団結力	みんなで意見を出し合い、指摘し合いながら一つのものをつくろうとする雰囲気		
全員参加	休む人が少なく、みんなで練習に臨む		
知識	強弱やブレス、楽譜をしっかりと意識して歌える		
勝利への執念	金賞を獲りたいという強い気持ち、熱い情熱		

感想

.....

.....

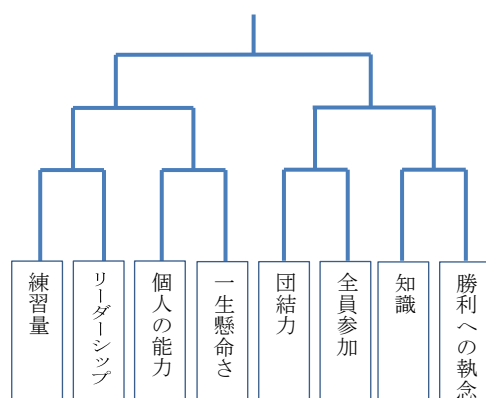
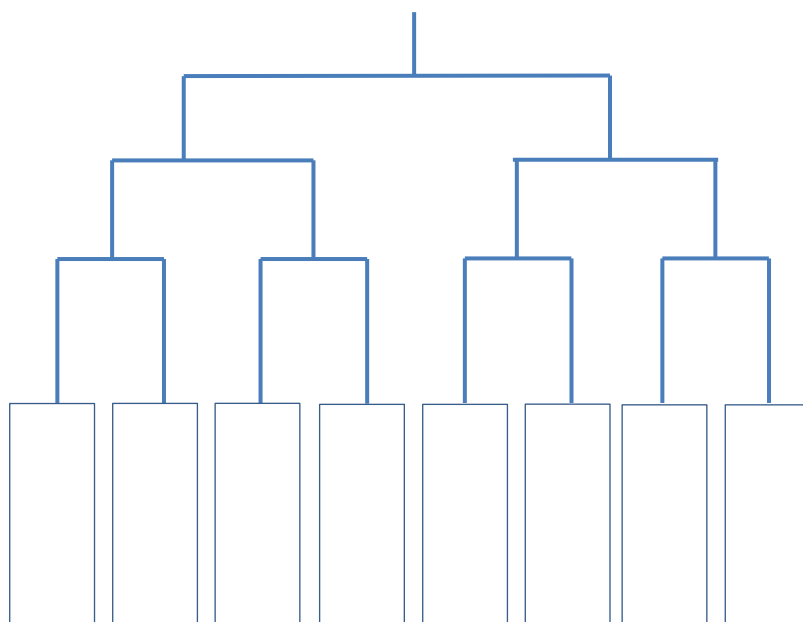
.....

.....

.....

.....

.....



【授業の実際】

○つかむ段階について（既習事項とのズレ・隔たりから内面に生じた問い・課題を設定する場面）

生徒は合唱はみんなで取り組むものという認識はあるものの、その気持ちを行動にすることができていない。そこで、より良い合唱をつくるために必要なことを考えるため、最初に去年の文化発表会の金賞クラスの合唱風景を見て、自分のクラスの合唱との違いについて考えさせ、何が必要なかを明確にすることをねらいとした。

生徒は去年の文化発表会の様子を見ながら、「今の3年1組に足りないものはなんだろう」「これから何を大事にしなければならぬだろう」という反応が見られた。



【資料1】導入の場面

○さぐる～深める段階について（思考ツールを活用して自己内対話をする場面）

それぞれの考えを交流させ、個人の考えを深めさせるために今回は、思考ツールとして「トーナメント」を活用した。これは合唱に必要なと思う価値項目をトーナメント形式で比較し、大切なものを絞っていくというものである。

班ごとに比較する価値項目をあえて変え、全部が同じ視点で見えていくのではなく、いろんな視点でそれぞれの価値項目に対する考えを深めることができたようにした。

まず自分の中で大事な価値項目をランキング形式で考えさせ、それをもとに班で交流させていった。時間を区切りながら、進めていったが班によっては意見がまとまらなかったため、進み具合に差がでてしまった。

班で交流をすることはできていたが、思考ツールとしては、まだ改善点がある。それは、思考の変化の段階がわかりにくいことだ。今後は要点を記入することなどの活動をいれ、思考の流れがわかりやすくなるようにしたい。



【資料2】班別交流の様子

○まとめる段階について（自分の言葉でまとめる場面）

班で交流したあとは、班長が話し合った工程を全体の前で発表する活動を行い、学級の合唱の課題を共有した。

「トーナメント」は、上にあがったものが、学級の一番の課題となるが、逆に一番下に来たものは、学級の合唱の良さとしてもとらえることができる。あまり時間はなかったが、その下にきたものが学級の良さであるということも確認できたので良かった。



【資料3】全体交流の様子

【授業の考察】

今回学級全体で学級の合唱の課題を確認することができたのはよかった。その後の生徒もこの時間で確認したことを意識して行動できているようだった。しかし、思考ツール「トーナメント」が有用であったかというところがそうではなかった。交流するツールとしては良いが、個人の思考を深めることにならなかったのは今後の授業展開における課題と考える。

【成果と課題】（授業整理会およびチェックシートから明らかになったこと）

（成果）

☆班で積極的に交流させることができ、全体でも学級の合唱の課題を把握することができた。

（課題）

★個人の考えをより深めるものとはならなかった。